

～ 自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること ～

可能な限りの感染拡大防止対策を講じながら

新入生84名を迎え、全校生徒226名と職員34名で令和3年度をスタートしました。「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」をモットーに、今年度の重点目標を「共に学び合う活動を通して、自ら学ぼうとする意欲を持った生徒の育成」とし、西中学校の教育活動を展開していきます。

コロナ禍の困難な状況は続いていますが、これまでの経験を生かし、可能な限りの感染拡大防止対策を講じ、授業、行事、生徒会活動、部活動などを進めていきます。そのためには、下記のような感染拡大防止対策にかかわって、西中生のみなさんをはじめ全ての方々のご理解とご協力が必要ですので、よろしくお願いします。



- 毎朝、検温を行い、健康チェックを行います。発熱やかぜの症状があるときは、ムリをせず、登校を控えてください。
 - ・引き続き、可能な限り、各家庭での朝の検温及び健康調査をお願いします。
 - ・発熱やかぜ症状がある場合は、ムリをせず、登校をしないでください。また、かぜ等の治療後、熱が下がってから2日間は登校をしないでください。いずれも、学校にその旨をお知らせください。
- 校内ではマスクを着用します。ただし、フィジカル・ディスタンス(セーフ・ディスタンス)が十分にとれる場合や運動する場合[熱中症防止のため]などは除きます。
- 咳エチケットを励行します。
- 可能な限り、のフィジカル・ディスタンス(セーフ・ディスタンスともいい、約1～2m以上)を互いにとります。
 - ・互いに手を伸ばして届かないぐらいの距離がおおよそ2mです。
- 可能な限り、対面[真正面]を避けます。
- 可能な限り、窓やドアを開放し、換気を行います。常時の窓の開放が難しい雨天や強風、空調使用時などでは、1時間に2回以上は換気を行います。
- 手洗い(またはアルコールによる手指消毒)を励行する。手洗いは、場所移動をするとき[例:特別教室に入る時、家に帰った時]、給食(食事)の前後、部活動の前後、共用物を使用する前後、トイレの使用の前後などで行います。
 - ・ただし、手洗いは手荒れをしない程度にします。手洗いの仕方がきちんとできていれば、ウイルスは見えないだけで確実にウイルスの個数は減っていて、感染を防ぐことに大変効果があります。
- ◇ドアノブなどの共用する部分を1日1回以上は消毒する。 *学校の方で行っています

上記のような感染拡大防止対策を講じていても、誰もが感染者や濃厚接触者になる可能性があります。社会生活を送っている以上、感染を0[ゼロ]にすることは困難です。そのような中、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など、感染者や濃厚接触者を特定し排除しようとする事案や、医療関係従事者などやその家族を排除しようとするような事案が後を絶ちません。このような誹謗中傷や差別は決してあってはならないことです。感染を恐れることと人を差別することはまったく違います。正しい判断力をもって、冷静で温かな行動をとることが、自分も他の人も大切に、感染拡大を防止することにつながります。

裏面に続きます。ご覧ください。

ウラへ

第1回進路説明会

4月16日(金)の5限目、体育館にて3年生の第1回進路説明会が開催されました。今回は、3年生の保護者の方々にも参加していただきました。ご多用の中、ありがとうございました。

今回は、進路にかかわる様々な内容のガイダンスでした。3年生が熱心に説明を聴いている姿やメモを取る姿が印象的でした。

会の「はじめに ある高校の先生からの話より」では、ある高校の先生の話が紹介されました。それは、就職(試験)で合格を勝ち取った生徒に見られる共通点のことでした。その共通点には、「敬語が使える(ていねいな言葉づかい)」「何に

でも集中できる、一生懸命に取り組める」などがあり、中学校生活をきちんと送る中で身につけ、さらに磨くことができるような内容でした。あたりまえのように送っている日常的な学校生活や家庭生活などを通して、実は様々なことを身につけ、自分を向上させています。決まりを守り、授業で一生懸命に学び、生徒会活動や係活動などを責任をもって仲間と取り組んでいくような生活を日々送ることは、自分の進路を拓くことにつながっています。

『将来の自分』、『なりたい自分』をイメージしながら、自分がめざす夢や目標に向かって、自分に合った道を見つけていきます。そのために、どの学年でも進路に関わる学習を積み重ねます。そして、そこで進路に関わる情報もしっかり受けとり、わからないことがあったら、遠慮なく先生に尋ねてください。

保護者の皆様にご承知いただきたいこと

子どもたちが日々学校生活を送る中で、他の人の物や学校の物を壊してしまう場合があります。例えば、昼休みに教室や廊下でふざけていて窓に強く当たってしまい、ガラスを割ってしまうなどです。このような場合、故意ではなくとも、修理費(ガラス代金等)を当該生徒の保護者に負担していただくこととなります。また、学校外に対しての事案では、当該生徒の保護者に弁償等の対応をしていただくこととなりますので、ご承知ください。ただし、授業中などで教員の指導等をきちんと守っていたと学校が判断できる場合などでは、弁償を求められないことがあることを申し添えます。

なお、加入は任意となりますが、福岡県PTA連合会の小・中学生総合保障制度など、個人賠償責任補償を適用する保険がありますので、お伝えいたします。

これまでも子どもたちは、家庭や学校、地域で様々なことを教えられ、「人に迷惑をかけない」「決まりを守る」など、やってはいけないことを学んできています。そして、中学生の年齢は、十分にその判断がつくものと、社会的にもとらえられます。今後も、子どもたちが正しく判断し行動できるよう、学校で指導をしていますが、ご家庭でも指導していただきますようお願いいたします。

第1回進路説明会 会次第

- はじめの言葉
- 校長あいさつ

はじめに *ある高校の先生からの話より

- 1 進路選択の心構え
- 2 高校についての概要
- 3 就学支援金制度について
- 4 奨学金について
- 5 就職にあたって
- 6 年間スケジュール
- 7 その他



- 質疑応答
- おわりの言葉

(文責 木村彰男)